

教 科	科目名		
理科	生物Ⅱ		
科目の種類	単位	形態	講座定員
3年エリア専門 選択	3	通年	18人

科 目 に つ い て	科目の概要	生物や生物現象についての観察, 実験や課題研究などを行い, 自然に対する関心や探究心を高め, 生物学的に探究する能力や態度を学ぶとともに基本的な概念や原理・法則の理解を深め, 科学的な自然観を身につける	選択条件	人文科学・自然科学・テクノ基礎・商業経済エリア指定科目
	年 間 の 授 業 内 容	<p>■1学期(中間テスト18時間、期末テスト12時間) 1年次の復習</p> <p>■2学期(中間テスト21時間、期末テスト24時間)</p> <p>1.生物現象と物質</p> <p>①タンパク質と生物体の機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物体内の化学反応と酵素</li> <li>・同化と異化</li> <li>・タンパク質の機能</li> </ul> <p>②遺伝情報とその発現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝情報とタンパク質の合成</li> <li>・形質発現の調節と形態形成</li> <li>・バイオテクノロジー</li> </ul> <p>2.生物の集団</p> <p>①個体群の構造と維持</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個体群の維持と適応</li> <li>・物質生産と植物の生活</li> </ul> <p>②生物群集と生態系</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物群集の維持と変化</li> <li>・生態系とその平衡</li> </ul> <p>■3学期(期末テスト30時間)</p> <p>3. 課題研究</p> <p>①特定の生物や生物現象に関する研究</p> <p>②自然環境についての調査</p>	授業形態	一般教室での講義と生物室での実験・実習
			教科書・使用教材	教科書:改訂版生物Ⅰ、生物Ⅱ (数研出版)
			評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験(小テストも含む)、授業(実験・実習・レポート)等を通して基本的な知識理解や操作が身に付いているかどうかを評価する。</li> <li>・4つの観点: 関心意欲態度・思考判断・観察実験の技法表現・知識理解</li> </ul>
			評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験、課題・実験や授業へ取り組む態度、姿勢、意欲、関心、出席状況を総合的に評価する。</li> <li>・欠課時間が規定の数を越えた者は10評定で「1」とする</li> </ul>
			備考	・1年次の生物Ⅰで用いた教科書・問題集も使用します。